

# 八頭郡農林業の概要

平成28年7月

東部農林事務所八頭事務所

## 目 次

### 1 農業の概要

- (1) 農産物販売金額規模別経営体数
- (2) 専業・兼業別農家数
- (3) 経営耕地及び耕作放棄地の状況
- (4) 認定農業者数の推移
- (5) 新規就農者数の推移
- (6) 集落営農組織の動向

### 2 農作物の栽培状況等

- (1) 作物
- (2) 野菜・花き
- (3) 果樹
- (4) 畜産

### 3 森林・林業の現状と取り組み

- (1) 八頭の森林の現状
- (2) 間伐の推進
- (3) 特用林産物
- (4) 森林路網の整備

# 1 農業の概要

## (1) 農産物販売金額規模別経営体数

(単位:戸)

項目 町	計	販売 なし	販売金額							
			50万円 未満	50~100 万円	100~ 200万円	200~ 300万円	300~ 500万円	500~ 700万円	700~ 1000万円	1,000万 円以上
若桜町	243	32	161	24	9	8	3	1	0	5
	100%	13.2%	66.3%	9.9%	3.7%	3.3%	1.2%	0.4%	0.0%	2.1%
智頭町	497	141	289	30	19	5	9	1	1	2
	100%	28.4%	58.1%	6.0%	3.8%	1.0%	1.8%	0.2%	0.2%	0.4%
八頭町	1,533	160	746	269	193	59	51	19	12	24
	100%	10.4%	48.7%	17.5%	12.6%	3.8%	3.3%	1.2%	0.8%	1.6%
八頭郡計	2,273	333	1,196	323	221	72	63	21	13	31
	100%	14.7%	52.6%	14.2%	9.7%	3.2%	2.8%	0.9%	0.6%	1.4%
鳥取県	22,035	2,173	10,009	3,721	2,292	1,106	976	468	464	826
	100%	9.9%	45.4%	16.9%	10.4%	5.0%	4.4%	2.1%	2.1%	3.7%
全国	1,679,084	172,508	528,644	288,050	225,910	113,029	102,718	57,246	57,096	132,983
	100%	10.3%	31.5%	17.2%	13.5%	6.7%	6.1%	3.4%	3.4%	7.9%

資料:「2010年農林業センサス」

## (2) 専業・兼業別農家数(販売農家)

(単位:戸)

項目 町	総農家	販売農家	販売農家			
			専業農家	兼業農家	第1種兼業	第2種兼業
若桜町	397	237	62	175	8	167
	100%	59.7%	15.6%	44.1%	2.0%	42.1%
智頭町	945	491	97	394	33	361
	100%	52.0%	10.3%	41.7%	3.5%	38.2%
八頭町	2,186	1,486	267	1,219	151	1,068
	100%	68.0%	12.2%	55.8%	6.9%	48.9%
八頭郡計	3,528	2,214	426	1,788	192	1,596
	100%	62.8%	12.1%	50.7%	5.4%	45.2%
鳥取県	31,953	21,474	4,569	16,905	2,528	14,377
	100%	67.2%	14.3%	52.9%	7.9%	45.0%
全国	2,527,948	1,631,206	451,427	1,179,779	224,610	955,169
	100%	64.5%	17.9%	46.7%	8.9%	37.8%

資料:「2010年農林業センサス」

## (3) 経営耕地及び耕作放棄地の状況

(単位:戸、ha)

項目 町	経営耕地 のある経営 体数	経営耕地 面積	田		畑		樹園地		耕作放棄 地面積
			田のある 経営体数	面積	畑のある 経営体数	面積	樹園地 のある経営 体数	面積	
若桜町	239	169	233	135	184	27	28	7	32
	100%	100%	97.5%	79.9%	77.0%	16.0%	11.7%	4.1%	18.9%
智頭町	494	323	494	295	346	25	23	4	62
	100%	100%	100.0%	91.3%	70.0%	7.7%	4.7%	1.2%	19.2%
八頭町	1,511	1,419	1,424	1,037	1,062	184	591	197	156
	100%	100%	94.2%	73.1%	70.3%	13.0%	39.1%	13.9%	11.0%
八頭郡計	2,244	1,911	2,151	1,467	1,592	236	642	208	250
	100%	100%	95.9%	76.8%	70.9%	12.3%	28.6%	10.9%	13.1%
鳥取県	21,752	26,369	20,501	18,032	15,246	6,686	4,477	1,650	3,616
	100%	100%	94.2%	68.4%	70.1%	25.4%	20.6%	6.3%	13.7%
全国	1,661,486	3,631,585	1,432,522	2,046,267	1,078,739	1,371,521	334,922	213,797	395,981
	100%	100%	86.2%	56.3%	64.9%	37.8%	20.2%	5.9%	10.9%

資料:「2010年農林業センサス」

(4) 認定農業者数の推移

(単位:人)

区分	市町村名	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
八頭事務所	若桜町	6	2	3	5	6	6
	智頭町	4	5	3	3	7	7
	八頭町	53	56	48	40	33	30
	計	63	63	54	48	46	43
東部地区 (八頭含む)	—	227	224	204	184	191	194
中部地区	—	523	505	500	488	480	487
西部地区	—	343	329	310	318	317	326
日野地区	—	40	36	36	37	46	47
県計		1,133	1,094	1,050	1,027	1,034	1,054

資料: 県経営支援課調べ。

(5) 新規就農者数の推移

(単位:人)

区分	市町村名	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
八頭事務所	若桜町	1	0	0	0	1	0
	智頭町	0	1	1	0	0	2
	八頭町	1	4	1	2	3	1
	計	2	5	2	2	4	3
東部地区 (八頭含む)	—	11	14	10	9	16	8
中部地区	—	18	21	19	16	20	23
西部地区	—	15	7	7	15	19	25
日野地区	—	2	6	3	2	1	6
県計		46	48	39	42	56	62

資料: 県経営支援課調べ。独立自営就農者数、歴年集計。

(6) 集落営農組織の動向

平成28年3月末現在

(単位:組織)

市町村名	共同利用型	作業受託型	協業経営型	合計	うち農業生産法人
若桜町		1	1	2	1
智頭町		3		3	
八頭町		6	4	10	4
合計		10	5	15	5

資料: 八頭事務所調べ

注) 共同利用型: 集落営農に参加している農家が、共有している機械や施設を集落ぐるみ、あるいは構成員が計画的に共同利用する形態

作業受託型: 集落営農の構成員であるオペレーターや中核農家が、機械や施設を利用した基幹作業を受託し、補完作業は他の農家が行う形態

協業経営型: 集落全体の協業で、各々の農家が能力に応じた作業に従事することによって効率的な生産を行い、収益は農地の持ち分や出役時間に応じて各構成員に分配する形態

## 2 農作物の栽培状況等

### (1) 作物

#### ① 水田利用面積(平成27年度)

水田作付面積の7割弱に主食用米が栽培され、次いで野菜、飼料作物の順に栽培面積が多い。

また、主食用米以外の加工用米、備蓄米、酒米なども生産調整の方策として定着している。

(単位:ha)

町名	水田総面積	作付面積	内 訳				
			主食用米	加工用米、 備蓄米、 酒米	飼料作物 (飼料用 米、 WCS用稲含 み)	野菜等	その他
八頭町	1,497	1,262	846	42	121	127	126
若桜町	252	180	131	7	0	22	20
智頭町	457	365	239	7	34	54	31
合計	2,206	1,807	1,216	56	155	203	177
構成比(%)	—	100.0%	67.3%	3.1%	8.6%	11.3%	9.8%

(八頭農業改良普及所調べ)

#### ② 水田品種別栽培面積(平成27年度)

ひとめぼれ、コシヒカリの2品種で主食用米栽培面積の約8割を占めており、依然として早生良食味品種へ集中しているが、平坦部を中心に中生品種のきぬむすめが増加傾向にある。

県下ではコシヒカリが約4割、きぬむすめが約2割を占めているが、八頭郡では山間部を中心にひとめぼれの占める割合が大きいことが特徴である。

(単位:ha)

町名	ひとめぼれ	コシヒカリ	きぬむすめ	その他品種	計
八頭町	301	317	135	93	846
若桜町	65	49	2	15	131
智頭町	116	102	3	18	239
合計	482	468	140	126	1,216
構成比(%)	39.6%	38.5%	11.5%	10.4%	100%

(八頭農業改良普及所調べ)

### (2) 野菜・花き

夏秋大根は、若桜町と八東町にまたがる広留野高原において栽培されている。

白ねぎ、アスパラガス、リンドウは水田導入作物として定着している。

品目別作付け面積(平成27年度)

(単位:ha)

町名	夏秋大根	白ねぎ	アスパラガス	ブロッコリー	リンドウ
八頭町	旧郡家町		3.3	1.8	1.0
	旧船岡町		7.1	0.2	0.5
	旧八東町	5.1	7.2	0.6	
	計	5.1	17.6	2.6	1.5
若桜町	4.0	0.9	0.0		
智頭町		1.9	0.4		2.0
合計	9.1	20.4	3.0	1.5	2.2

(八頭農業改良普及所調べ)

(3)果 樹

①なし

二十世紀を中心に、八頭町で主に栽培されている。  
 生産者の高齢化等で戸数、面積ともに減少傾向となっている。  
 県が育成した新品種(新甘泉、なつひめ等)が平成18年から栽培されはじめ、平成28年1月  
 末現在で9,861本の苗木が導入されている。

なし品種別栽培面積(平成27年度)

果実部	農家数 (戸)	品 種 別 面 積 (ha)					備 考
		二十世紀	ゴールド 二十世紀	新品種 (新甘泉、な つひめ等)	その他	計	
郡 家	73	4.3	5.5	7.2	7.1	24.1	旧郡家町、旧船岡町
八 東	62	3.4	8.8	2.2	5.5	19.9	旧八東町、若桜町
合 計	135	7.7	14.3	9.4	12.6	44.0	

(鳥取いなば農業協同組合調べ)

②か き

西条、花御所を中心に、八頭町(旧郡家町、旧八東町)で主に栽培されている。  
 平成28年1月現在で、県が育成した新品種「輝太郎」の苗木が3,518本導入され、今後の  
 栽培面積の拡大が期待される。

かき品種別栽培面積(平成27年度)

果実部	農家数 (戸)	品 種 別 面 積 (ha)					備 考
		西条	花御所	輝太郎	その他	計	
郡 家	128	21.2	14.6	2.7	2.1	40.6	旧郡家町、旧船岡町
八 東	87	23.0	0.0	1.2	0.1	24.3	旧八東町
合 計	215	44.2	14.6	3.9	2.2	64.9	

(鳥取いなば農業協同組合調べ)

③ぶどう

八頭町(旧八東町)で、巨峰を中心に13戸で4,0ha栽培されている。

(4)畜 産

乳用牛は4戸、278頭で頭数はほぼ横ばい。(前年比-1戸、-5頭)  
 肉用牛は26戸、1,868頭でやや頭数が減少した。(前年比±0戸、-36頭)  
 豚は2戸、745頭でやや頭数が減少した。(前年比±0戸、-22頭)  
 鶏は2戸(3農場)、27,539羽で羽数が増加した。(前年比±0戸、+3,822羽)

(単位:戸、頭、羽)

町 名	乳用牛		肉用牛		豚		鶏	
	農家数	飼養頭数	農家数	飼養頭数	農家数	飼養頭数	農家数	飼養羽数
八頭町	4	278	13	1,274			1	4,361
若桜町			4	312	2	745		
智頭町			9	282			2	23,178
合 計	4	278	26	1,868	2	745	3	27,539

(平成27.2 県畜産課調べ)

## 4 森林・林業の現状と取組み

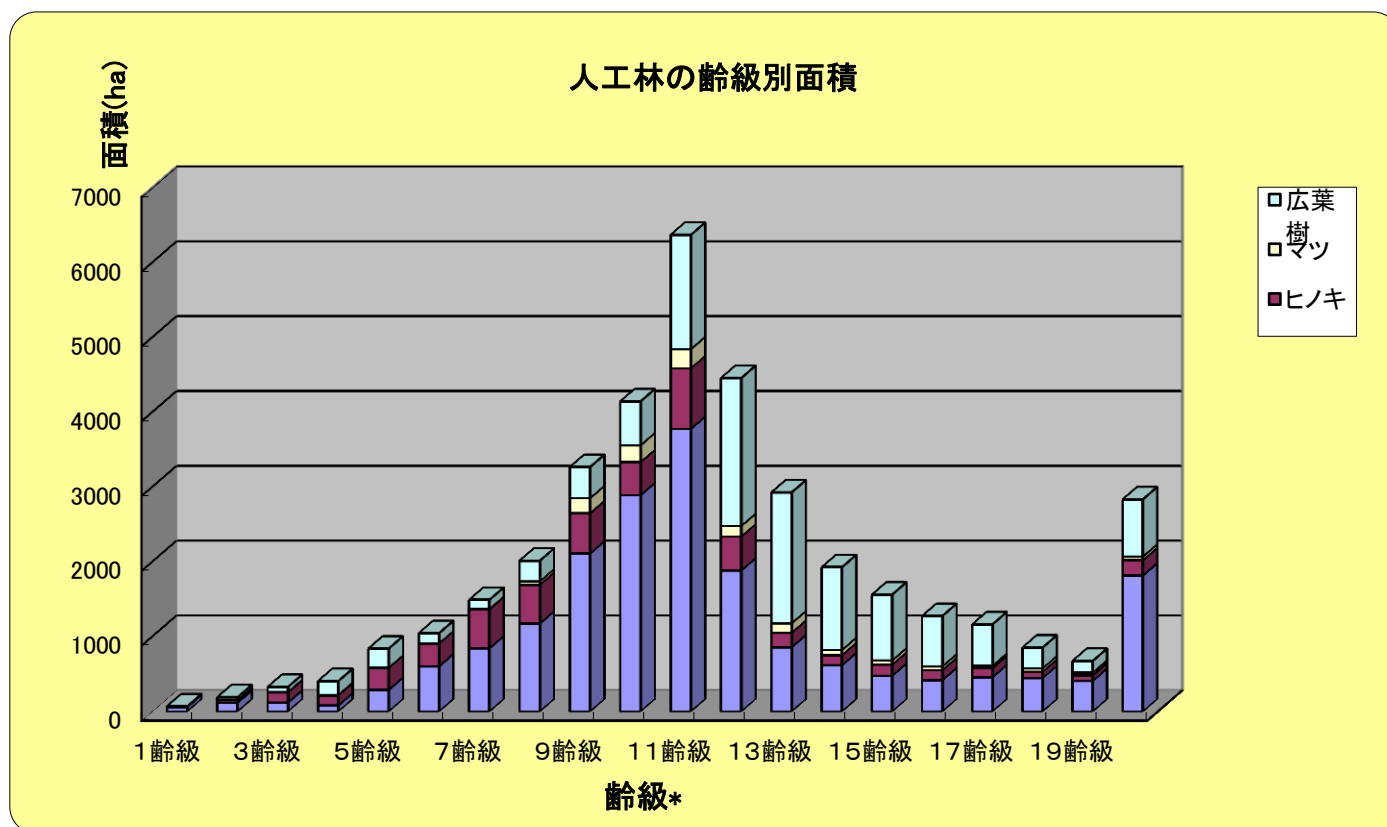
### (1) 八頭の森林の現状

- ・八頭郡の林野面積は、56,257haと、総土地面積の89.2%を占めている。
- ・民有林のうち、スギ・ヒノキ等の人工林は29,624haで、人工林率は63.2%に及んでいる。
- ・スギ、ヒノキの人工林資源は、徐々に成熟し、蓄積が増加しつつあるが、間伐を必要とする人工林が増大している。

#### 【林野面積】

区分	総面積	林野面積				民有林内訳			
		国有林 ha	民有林 ha	計 ha	林野率 %	人工林 ha	天然林 ha	その他 ha	人工林率 %
八頭町	20,671	805	15,742	16,547	80.0	8,060	7,297	385	51.2
若桜町	19,931	5,075	13,797	18,872	94.7	7,938	5,726	133	57.5
智頭町	22,461	3,495	17,342	20,837	92.8	13,627	3,421	294	78.6
合計	63,063	9,375	46,882	56,257	89.2	29,624	16,444	814	63.2
県合計	350,726	31,770	227,373	259,143	74.1	123,494	96,448	7,431	54.3

出典：鳥取県林業統計 平成24年版



※ 齢級とは、植栽した年を1年生として、1～5年生を、1齢級、6～10年生を2齢級、11～15年生を3齢級のように5年単位で計算したものです。

出典：森林簿DB(2012年版)

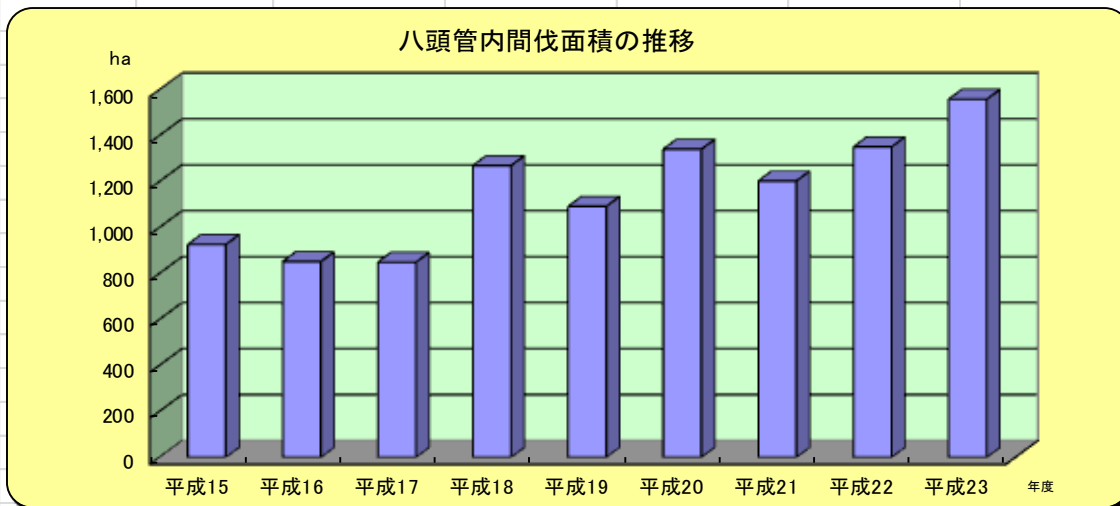
## (2) 間伐の推進

人工林面積30千haのうち、間伐施業の必要な21年生～40年生は1/3近い約10千haあります。

森林所有者に間伐の必要性を訴えながら、所有者への収益につながる間伐材搬出利用も積極的に進めています。間伐面積は1,300ha前後で推移していますが、林内から持ち出された素材は年々急増し、素材生産事業体数が増えるなど生産能力がより高まった平成25年度は44,700m<sup>3</sup>に達しています。

また、生産費がより低減して所有者の収益が多くなるよう、「施業の集約化、路網整備、高性能林業機械整備」も連携して進めています。

### 【八頭管内の間伐面積】



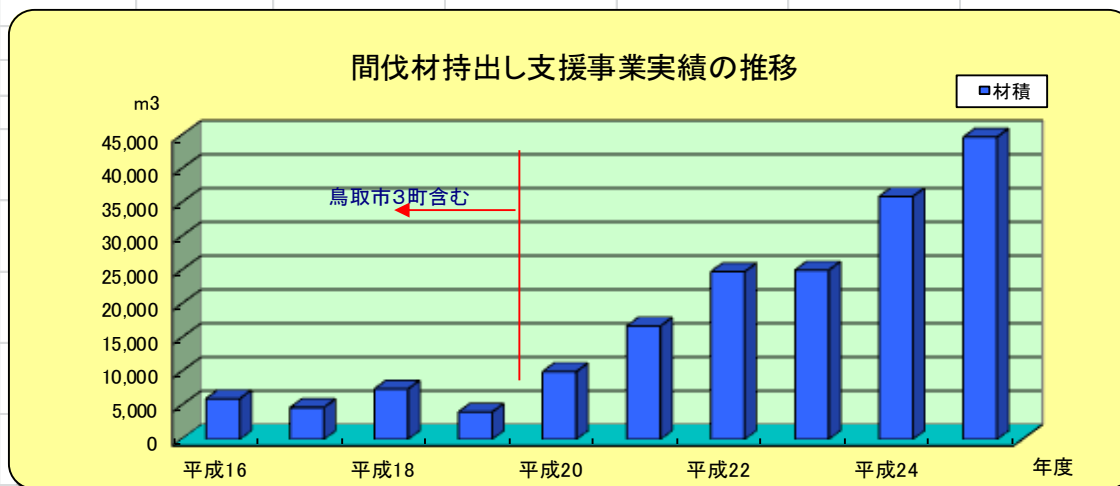
### 【市町別間伐面積】

単位: ha

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
八頭町	345	247	248	448	231
若桜町	238	142	257	279	243
智頭町	758	814	846	831	395
計	1,341	1,203	1,351	1,558	869

### 【間伐材持出し支援事業】

※H18までは鳥取市(旧河原町、旧用瀬町、旧佐治村)含む



※林業統計より

### (3) 八頭管内の特用林産物

しいたけ生産を見ると、自然・健康・低カロリー食品としての嗜好の高まりや食への安心・安全意識の高まりから、国産価格が高値安定的に推移しており、生産環境はいい。

しかし、生産者の高齢化などにより、乾・しいたけ生産者の減少が続いています。平成22年度から「きのこ王国いなば」推進協議会を立ち上げ、東部圏域（東部農林事務所・八頭事務所管内）が一大きな産地へと発展するため、生産量増大を図っている。

#### 【主要な特用林産物の生産状況】

区 分	生産者数 (人)				生産量 (t) ※木酢液はkl			
	平成23	平成24(A)	平成25(B)	対前年比 (B)/(A)	平成23	平成24(A)	平成25(B)	対前年比 (B)/(A)
しいたけ	31	31	25	81%	85.4	77.0	64.7	84%
なめこ	18	11	9	82%	110.8	110.6	110.8	100%
ひらたけ	1	1	1	100%	437.8	432.8	431.9	100%
ぶなしめじ	1	2	1	50%	110.0	114.0	113.0	99%
えのきたけ	1	1	1	100%	61.4	40.8	38.1	93%
竹炭	2	5	5	100%	3.0	1.3	0.6	46%
木酢液	2	4	4	100%	1.4	0.2	0.1	50%

東部農林事務所八頭事務所調べ

### (4) 森林路網の整備

八頭管内の人工林資源では、9齢級の森林面積が最も多く、今後、収入間伐の可能な森林が増大してきます。このため、木材の生産性の向上、搬出コスト等の削減に必要な路網整備の促進が求められています。

過去5カ年間の作業道開設を見ると、車両系林業機械を用いた低コスト林業に移行するために、その基盤となる作業道開設が増加しています。特に平成21年度以降では、開設の前提となる団地化が定着しつつあることと併せて、建設事業体と連携した開設が始まり大幅に増加しています。平成23年度は台風による進入路被害、補助事業制度改正等に伴い一時的に停滞しましたが、災害復旧などを経て回復し、平成25年度は特に八頭町に開設が進みました。

なお、団地化の形成が遅れている若桜町では鈍化傾向が見受けられることから、森林組合主導による取組強化が急がれます。

#### 【作業道開設量の推移】

単位：m

市 町 別	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		5カ年間の累計	
	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長	路線数	延長
八頭町	18	11,227	20	15,604	13	10,260	27	19,338	42	33,596	120	90,025
若 桜 町	20	10,109	14	10,740	12	4,853	10	7,583	17	15,735	73	49,020
智 頭 町	37	19,478	50	28,623	30	14,916	52	28,142	54	21,916	223	113,075
八頭管内 計	75	40,814	84	54,967	55	30,029	89	55,063	113	71,247	296	162,095

※林業統計の市町村別作業道開設実績等より



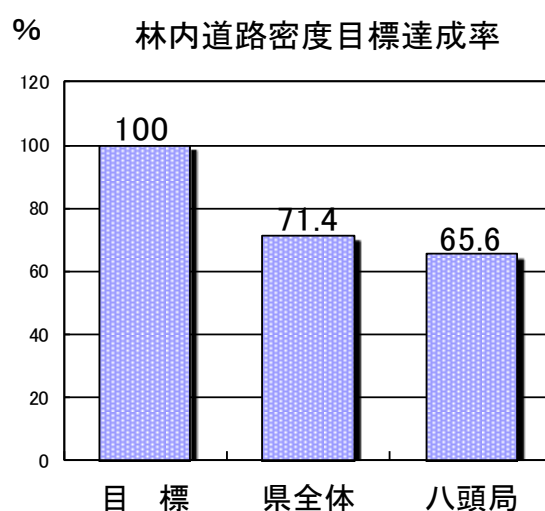
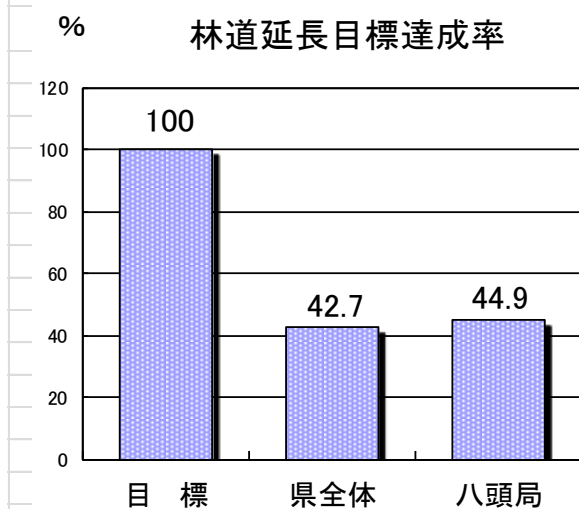
【林道の現況と将来計画】

区分	森林面積 (ha)	目標林内道路密度(m/ha)(*1)			目標林道 延長(km)(*2)	平成21年度末現況(km)			林内道路密度(m/ha)		
		林道	公道	計		林道	公道	計	林道	公道	計
県計	226,964.0	11.0	10.3	21.3	2,491.0	1,064.1	2,382.9	3,447.0	4.7	10.5	15.2
八頭局	63,662.0	13.7	7.8	21.5	867.3	387.9	519.3	907.2	6.1	8.0	14.3

資料：鳥取県林業統計(平成24年度版)による。

(\*1)林内道路密度とは%当たりの林内道路(公道+林道)延長です。

(\*2)目標林道延長とは平成53年度末の目標とする林道延長です。



【森林基幹道、森林管理道の進捗状況】

区分	路線名	該当市町村名	全体計画延長 (m)	平成24年度末 開設延長(m)	進捗率 (%)
森林基幹道(*1)	根安春米	若桜町	17,350	15,371	88.6
	因美	智頭町	10,200	4,006	39.3
	中ノ津	智頭町	15,330	12,501	81.5
	箆山	鳥取市(旧用瀬町)、智頭町	25,750	16,685	64.8
	桑原河内	鳥取市(旧青谷町)	14,450	11,867	82.1
	田河内蒲生	岩美町	12,183	12,183	100.0
森林管理道(*2)	嶽山	八頭町(旧八東町)	10,700	6,989	65.3
	諸鹿角谷	若桜町	11,972	10,636	88.8
	西宇塚観音寺	智頭町	14,625	4,052	27.7
	安蔵	鳥取市	8,538	8,538	100.0

資料：東部農林事務所八頭事務所調べ

(\*1)森林、山村、都市を結ぶと同時に、森林整備のための林内路網の骨格的な役割を果たす林道です。

(\*2)作業道と一体的に林内路網を形成し、森林整備に使用される林道です。